

▼女性中毒

帝キネ音屋現代映畫

原作者 緑川 露之助氏  
脚色者 龜井 清一氏  
撮影者 立花 幹也氏

—— 主要役割 ——

鳴海勝輔 小島 洋々氏  
三島保 山名次郎 松本 泰輔氏  
山名次郎 濱田 格氏  
林田利平 大河 慶三氏  
令嬢文枝 高津 愛子嬢  
小間使お鶴 柳 さく子嬢  
里子 二條 玉子嬢  
親分 吉田 豊作氏

解説——「亂れ咲く花」について亀井清一氏が監督製作した現代喜劇である。

略筋——己が好める薬品學を研究して大學を卒業する事既に數回トチン學生の異名を有する三島保は許婚の里子よりも研究の方が好きだった。彼は友人の山名が富豪林田の令嬢文枝に戀してゐるのを見て師の鳴海博士と共にその後援を企んだが、内氣な山名は自分の思ひを文枝に打ち明けも得ず煩悶の日を幾日か續いた。こゝに於て保は山名の爲めに日頃研究の薬品を應用して惚れ薬の創製にとりかゝつた。かくて彼等は鳴海博士の研究室に閉籠ること數ヶ月に及んだ。彼等の必死の努力は遂に天地開闢以來の大發明惚れ薬ゾットスールが造られその實地試験は行はれ其効果は驚くばかり山名と保は無事の女の包圍に悩まされたが遂に目出度山名は文枝を得、保もまた里子と共に楽しい日を送つたのである。